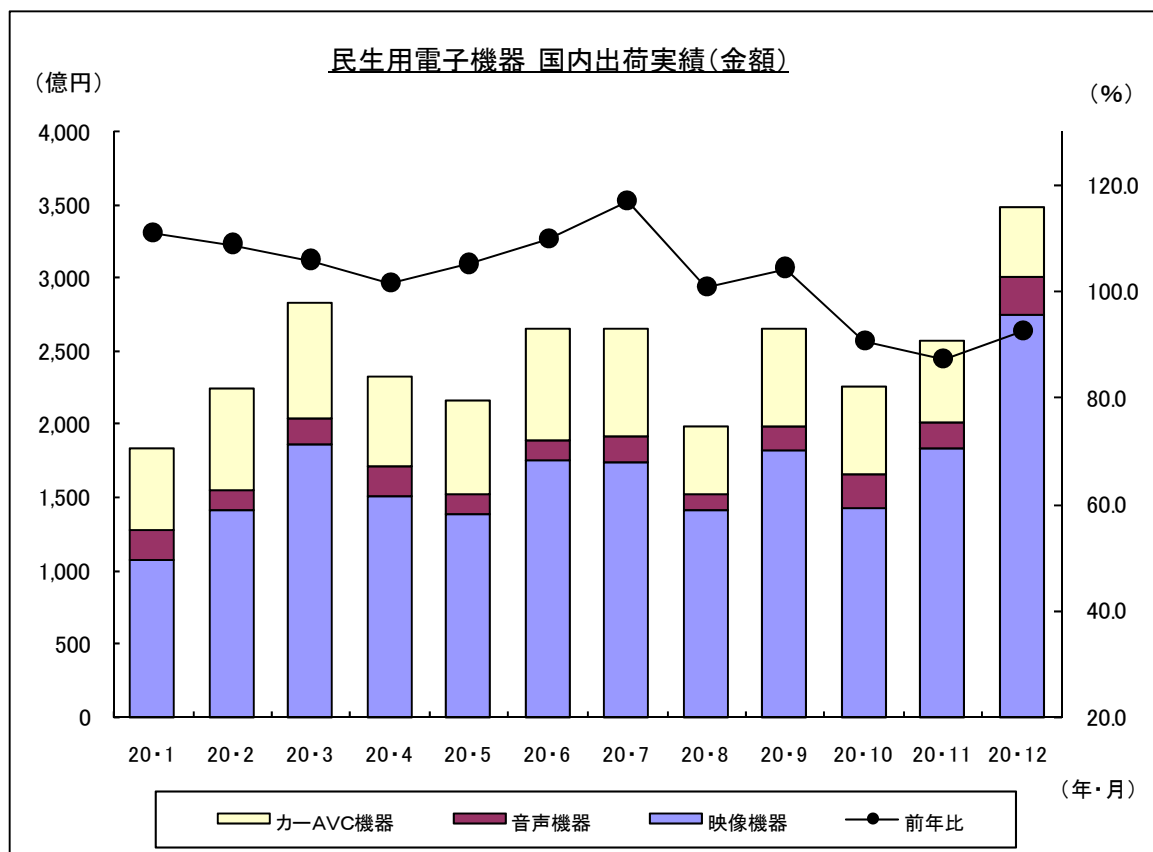


全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比（％）

	20・1	20・2	20・3	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10	20・11	20・12
映像機器	1,069	1,413	1,865	1,509	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425	1,834	2,751
	<i>109.8</i>	<i>108.8</i>	<i>108.9</i>	<i>101.3</i>	<i>107.0</i>	<i>112.2</i>	<i>119.4</i>	<i>106.3</i>	<i>108.2</i>	<i>91.3</i>	<i>92.3</i>	<i>96.7</i>
音声機器	198	135	177	198	138	146	179	109	167	223	172	262
	<i>112.2</i>	<i>103.1</i>	<i>96.4</i>	<i>98.2</i>	<i>93.8</i>	<i>104.6</i>	<i>120.4</i>	<i>99.5</i>	<i>85.8</i>	<i>94.1</i>	<i>82.1</i>	<i>92.3</i>
カーAVC 機器	563	700	795	614	633	757	728	470	659	611	567	475
	<i>112.8</i>	<i>110.5</i>	<i>101.7</i>	<i>104.2</i>	<i>104.4</i>	<i>106.6</i>	<i>111.3</i>	<i>88.0</i>	<i>100.4</i>	<i>88.7</i>	<i>75.7</i>	<i>74.1</i>
計	1,830	2,248	2,837	2,321	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259	2,573	3,488
	<i>111.0</i>	<i>109.0</i>	<i>106.0</i>	<i>101.7</i>	<i>105.3</i>	<i>110.1</i>	<i>117.1</i>	<i>100.9</i>	<i>104.5</i>	<i>90.8</i>	<i>87.4</i>	<i>92.5</i>

12 月の概況

民生用電子機器の12月出荷金額は、3,488億円、前年比92.5%と3ヶ月連続のマイナスとなった。2008年の累計では、2兆9,633億円、前年比101.9%となった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、2,751億円、前年比96.7%と3ヶ月連続のマイナス、累計では、1兆9,958億円、前年比104.1%となった。

音声機器国内出荷金額は、262億円、前年比前年比92.3%と5ヶ月連続のマイナス、累計では、2,104億円、前年比97.3%となった。

カーAVC機器国内出荷金額は、475億円、前年比74.1%と3ヶ月連続のマイナス、累計では、7,571億円、前年比97.8%となった。

- 12月のカラーテレビ全体計（CRT+10型以上液晶+PDP）は1,425千台、前年比は103.3%となり、テレビ全体として初めて単月出荷台数が140万台を上回った。12月の構成比（台数ベース）は、10型以上液晶が88.5%、PDPが10.8%、CRTは0.7%となった。
- 10型以上液晶カラーテレビは1,261千台、前年比は106.2%と先月より若干増え、単月では過去最高の出荷台数となった。うち、99%以上を占める16：9が1,249千台、同109.8%、37型以上は401千台、同113.1%となっている。
- PDPは154千台、前年比101.9%と2ヶ月ぶりにプラスに転じ、単月では過去最高の出荷台数となった。

- 12月のDVDビデオは、483千台、前年比60.5%と、9ヶ月連続の前年割れとなった。その内の半分強を占めるDVD録再機が272千台、同58.3%、残りの半分弱を占めるDVD再生機は211千台、同62.8%と、どちらも大きな前年割れとなっている。
- 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤーは390千台、前年比392.0%と引き続き好調に推移しており、DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で45%を占めるまでになった。また、次世代光ディスクレコーダの出荷台数が、DVDレコーダの台数を大きく上回った。
- ビデオ一体型カメラは107千台、前年比102.1%と、5ヶ月振りに前年を上回った。全体の約6割を占めるハイビジョン対応機種が堅調なことから、ハイビジョン非対応機種の落ち込みが余り大きくなかったためである。

- ステレオセットは121千台、前年比65.2%と21ヶ月連続の前年割れとなった。
- デジタルオーディオプレーヤーは935千台、前年比115.1%と2ヶ月ぶりにプラスとなった。うちフラッシュメモリを使用するタイプは98%の914千台であった。
- HiFiスピーカシステムは69千台、前年比119.9%と、26ヶ月連続で前年プラス、22ヶ月連続の2桁成長と、依然好調を維持している。

- カーオーディオは、カーステレオ本体(カセット)が、22千台、前年比56.6%、カーCDプレーヤーが388千台、前年比73.3%と大幅なマイナスであった。カーステレオとカーCDプレーヤーの合計は410千台、前年比72.1%であった。
- カーカラーテレビは64千台、前年比71.7%と5ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは16千台、同58.5%と3ヶ月連続のマイナスになっている。
- カーナビゲーションシステムは314千台、前年比84.3%と3ヶ月連続のマイナスであった。12月のソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが15.3%、HDDタイプ(その他)が84.7%であった。
- ETC車載ユニットは444千台、前年比126.2%のプラスとなった。